

こころ 県P連だより

編集 徳島市北田宮1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページアドレス
<http://tokukenpta.com/>

子どもをどまん中に

みすえたPTA活動

徳島県PTA連合会

会長 谷 明彦

日ごろ、PTA会員の皆さまには徳島県PTA連合会の活動にご理解、ご協力くださいます。徳島県PTA連合会は、家庭・学校・地域における児童・生徒の健全な成長を願う基本方針・活動目標にもとづき活動しています。

さて、近年の小中学校で学ぶ、私たちの子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。家庭・学校・地域社会の連携の重要性が強調され、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ取り組みがなされています。しかし、依然として「いじめ」や「不登校」子どもたちの安全が脅かされる事件や様々な問題が子どもたちの周囲で起こっています。さらには、教育関係者による「体罰」や不祥事が報道され大きな社会問題となりました。

このような子どもたちを取り巻く問題を把握し、適切な対応を図り、未来を担う児童・生徒が健やかに成長できる環境を整えていくことは、現在、社会の中心を担う責任世代である私たちの責務と思えます。

私は、子どもたちが通う学校は、毎日、笑顔で学校へ行くことを楽しみにしている場所であってほしいと願っています。教育の現場は、学校と言われますが、教育の原点は、家庭教育ではないでしょうか。社会で生きて行くのに必要なルールやマナーを守る規範意識の大切さ。本来、このようなしつけを含めた子どもたちの教育は、家庭・学校・地域社会で育むものであり、学校にすべてを委ねている風潮があるならば、よくないことだと思います。



みえ大会 全大会開會式

学校教育は学力低下が指摘され、ゆとり教育から大きく方向が変わり、学力重視・活用を求めた新学習指導要領が実施されています。また、学校での土曜授業も検討され、大都市の学校で実施されています。



3月10日ゆめタウン徳島募金活動

も一人ひとりと向き合い個性を生かした丁寧な教育も求められています。私たちPTAはこれからの地域社会において、子どもたちの教育環境をどのように創り育て、支えていくかを考えていかなければなりません。

【心のきずな61キャンペーン】

日本PTAの東日本大震災就学支援事業「心のきずな61キャンペーン」に、お取り組みくださいました各小中学校PTA会員・郡市P連や街頭での募金活動等で、平成二十四年度は、総額三百五十五万五千七百六円が集まり、県P連基金からの百万円を合わせた四百五十五万五千七百六円を日本PTAに送金しました。ご協力くださいました皆さまに深く感謝申し上げます。

六月二十六日に日本PTA総会が開催され、信託銀行へ委託し給付する当初の計画を変更し、公益社団法人日本PTA全国協議会が事業主体となり、全国のPTA等から寄せられた約三億五千万円の募金等を原資とし、東日本大震災を起因とする保護者を亡くされた子どもたちへの就学支援を平成二十五年度に実施することになりました。

募集要項や支給等の詳細は、日本PTAのホームページや日P新聞等にておしらせいたします。

私たちは、東日本大震災を忘れることなく、この教訓をいかし、子どもたちには、自分の命は自分で守れるように防災教育等とおして伝えていくことが大切と考えています。徳島県P連は、今後も被災地への支援を、よろしくお願いいたします。

【徳島県教育長への要望】

子どもたちが、安心して暮らせる社会環境の整備や、学校へ安全に通学し、学べる教育環境を整えることは、私たち保護者の願いだと思います。徳島県PTA連合会は、総務委員会にて各郡市P連会長を中心に、子どもたちを取り巻く学校内や登下校時の安全面や環境整備、教育問題等について協議した十項目にわたる内容を、徳島県教育長へ要望いたしました。

PTA活動を行うには、様々な問題等があるかと思いますが、このような問題点を探り解決する方法の一つに、話し合うことが大切だと思います。

役員・会員がそれぞれ気持ちを一つに目標に向かい取り組んでいけば、周囲からの支援や協力も得られ、良い考えも生まれてくるのではないのでしょうか。

【日本PTA全国研究大会】

平成二十五年度は、三重県で日本PTA全国大会が開催され、徳島県P連から参加した二十五名の会員が、四ヶ所の分科会で研究討議しました。特別第1分科会では、東北大学の川島隆太教授の講演で、食事は、おかずをバランス良く摂ることが大切で、子どもの脳の発達には、夜の十時から十二時までの睡眠が必要など、大事なことを学びました。

様々な提言がなされた三重県での分科会や全体会では、来年度全国大会開催の長崎県PTA会員約百名が、準備もほぼ整い、長崎大会への参加に向けたアピールをいたしました。



長崎大会アピール

【徳島うずしお大会】

平成二十八年度には、徳島県で日本PTA全国研究大会を開催します。徳島県内、十ヶ所の会場にて分科会を、アステイとくしまで全体会を開催し実践発表や研究討議を行う予定です。徳島県PTA連合会は、平成二十五年九月に、全国大会準備委員会を設置し、「徳島うずしお大会」の開催に向け、準備を開始しました。全国大会は、研修をとおしてPTAの果たす役割がどれほど大切かを改めて実感する機会でもあります。多数のPTA会員の方々が参加し、研修されますようお願いいたします。

結びとなりますが、今後も徳島県PTA連合会の活動に、会員皆さまのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

日本PTA全国大会開催地	平成26年度	長崎県
	↓	
	平成27年度	北海道
	↓	
	平成28年度	徳島県

ブロック別PTA活動紹介

熱き戦いでつながる絆!!

深まる親睦, 広がる仲間!

★次号のブロック別PTA紹介は、板野郡P連、阿南市P連、美馬市P連です。

中部ブロック 鳴門市PTA連合会

会長 藤井利崇

鳴門市PTA連合会は、16幼稚園・16小学校・6中学校で構成されており、会員数は4,376名です。

すべての単Pが「研修委員会」と「体育委員会」の2つの常置委員会に所属し活動を行っています。

「研修委員会」は、県内・県外研修の企画立案を行い会員への参加の依頼を行っています。

今年度は、6月30日(日)に昨年度四国ブロックPTA研究会にお越しいただいた「南 修治」さんをお迎えして、講演会・コンサートを開催してPTA会員を始め市民の方々にもご来場頂き大盛況のうちに終了することができました。

「体育委員会」は、主に「バレーボール大会」「綱引き大会」の企画立案を行い、多くのチームの参加を促進し、各大会において会員相互の親睦を図る活動をしています。

「バレーボール大会」は、今年度で48回目を数える伝統的な大会で、以前は4つのブロックに分けて大会を行っていましたが、近年会場をアミノバリューホール(鳴門県民体育館)に変更したのを機に優勝大会方式になり、現在は鳴門市内のチャンピオンを決める大会になっています。



バレーボール大会の開会式

また昨年度から「コート内に3名以内なら男子が入ってプレイしてOK」というルールに変更したので、今年度の大会(7月27日)もますます白熱したゲームが展開されました。

「綱引き大会」は、男女別に分かれて優勝を目指す大会で、今年度で25回目と「バレーボール大会」には回数的には、およびませんが、参加している選手は「バレーボール大会」の選手に負けてはいません。

顔を真っ赤にして、綱を引く選手は真剣そのもので感動的です。昨年度的女子決勝では、なかなか勝負がつかず途中で水入り(休憩)となり、再度引き直すという大熱戦が繰り広げられました。

昨年度の綱引き大会は、チャリティー綱引き大会とし日本PTA全国協議会が震災で孤児・遺児となった子どもたちの就学支援をするための募金活動を行いました。約10万円の募金が集まり会員の皆さまに感謝申し上げます。

今年度の大会は、平成26年1月25日(土)に開催されます。お時間がある方は、ぜひアミノバリューホールへお越しいただき熱戦をご覧ください。

以上のように、鳴門市PTA連合会では、できるだ



綱引き大会の女子決勝戦

け多くの会員が活動・交流できるようがんばっています。また、平成28年度には徳島県で開催される第64回日本PTA全国研究大会での鳴門市で開催する分科会に向けての土台づくりを行い、OBの方々とも相互連携を築いているところです。

これからますます飛躍する、鳴門市PTA連合会にみなさん!! どうぞ注目ください。

南部ブロック 小松島市PTA連合会

会長 谷明彦

小松島市は、昭和26年6月に勝浦郡小松島町が立江町と合併して市制を布き小松島市となり徳島県第3番目の市として発足、続いて31年9月坂野町と合併、人口約4万人の市として現在に至っています。したがって小松島市PTA連合会は、昭和26年に結成され、平成24年で、60周年を迎えました。

小松島市PTA連合会は、現在、小学校11校、中学校3校による単位PTAで組織され、児童生徒数は約3,000人です。主な事業は、5月に総会、7月に球技大会、2月に振興大会を開催しています。

また、徳島県PTA会長・指導者研修会、小松島市人権教育啓発推進者研修会等、県・市主催の研修会に積極的な参加を図っています。さらに、小松島市教育委員との懇談会を実施し、小松島市の教育の在り方について、PTAの立場として提言、要望、情報交換を行っています。

前述の市P連球技大会は、会員の親睦を図ることを目的に、ソフトボールとバレーボールを開催していましたが、近年は、男女混合のミックスバレーボール大会を、7月の第1日曜日に開催しています。5月上旬の、市P連総会で事業計画が承認されたのち、各単位PTAでは球技大会に向けて、当日の参加や役割分担等について役員会等で協議し、選手の募集や大会に向けての準備が5月下旬からはじまります。また、各小・中学校での練習や他校との交流を兼ねた練習試合では、先生方のご協力のもと、保護者(P)と先生方(T)が連携(A)し、球技大会を盛り上げてくださっています。

小松島市立体育館を会場に、約400人の参加者で開催される大会では、老若男女が和気あいあいと観戦します。選手は、子どもたちや参加者の声援をうけ、ボールの行方に一喜一憂し、白熱したプレーが繰り広げられ、日頃の運動不足の解消や会員間の交流を深めています。

また、昭和34年度に始まった小松島市PTA振興大会は、今年度で55回目を迎えます。振興大会では、PTA活動にご尽力いただいた方々の表彰と記念講演を2月に行っています。大会の講師の選任については、時代に則したテーマを考え、各単位PTAの会員を中心に、約300人が研修します。

平成23年2月26日に開催した振興大会で、「「幸せ



ミックスバレーボール大会

選べるように」を歌い継いで」と題し神戸市PTA協議会元会長三木秀美氏より、阪神・淡路大震災での取り組みや防災への備えについて、講演があった約2週間後の、3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生しました。翌年の振興大会は、大震災で社屋に甚大な被害をうけながらも、地域の方々に壁新聞にて情報を発信した宮城県石巻日日新聞社常務取締役の武内宏氏に講師を依頼しました。「愛する地域に届け壁新聞」と題した講演で「1人でも多くの命を守ってください」と語った武内氏の言葉が深く印象に残っています。当日は、日本PTAの就学支援事業「心のきずな61キャンペーン」の募金活動を実施し、被災地への支援活動を行いました。



振興大会 講師 武内氏

西部ブロック 阿波市PTA連合会

県P連広報委員 山村 守

今年の夏は一段と厳しい暑さになりましたが、7月28日(日)蝉の声に、また一段と暑さを覚える中、平成25年度阿波市PTAソフトバレーボール交流会が、阿波中学校、伊沢小学校体育館を会場として開催されました。

市内9小学校、4中学校より、284人が参加しました。この日のために練習会を開いたチームもあり、多い学校では6回開催されたとのことでした。

この交流会のための練習では、昔の同級生と偶然再会した方もいたと聞きました。最初は、わからなかったけれども、話をするうちに、お互いに思い出すことができ、昔話を花を咲かすことができたそうです。これも、交流会の目的の一つである、会員同士の親睦を深めるということにつながったと考えています。

蝉の鳴き声が聞こえる中、午前9時より阿波中学校体育館にて開会式が行われました。阿波市PTA連合会の岡田和也会長の挨拶に続き、阿波市教育委員会教育長の坂東英司様よりご挨拶をいただきました。続いて阿波市PTA連合会厚生・生涯スポーツの中谷守委員より競技上の注意がありました。その後、参加されるみなさんで仲良く準備体操をしました。

いよいよ競技開始です。A・B・Cの三つのコートに分かれてのリーグ戦です。

県P連研修委員会

研修委員長 森川 融

今年度は、家庭教育研修会を2回開催することになりました。第1回目は7月13日に県教育会館に於いて講師に違法・有害情報相談センター長桑子博行氏を招き、「スマートフォンの安全な使用について」研修しました。スマートフォンはパソコンと同じで、使用方法によっては大事件、犯罪につながる所以要注意!今一度保護者よりお子様とスマートフォンの使用方法についてよく話し合ってください。

ワンポイントアドバイス

ネット上には便利なサービスがあります。その反面大きなリスクもあります。子どもたちが健全に利用するためにはルール作りとそれを守り続ける工夫が必要です。

Aコート(阿波中学校体育館)は、大俣小学校、阿波中学校、一条小学校、八幡小学校です。

Bコート(阿波中学校体育館)は、久勝小学校、市場小学校、御所小学校、吉野中学校、土成中学校です。

Cコート(伊沢小学校体育館)は、伊沢小学校、土成小学校、柿原小学校、市場中学校です。

日頃、なかなか顔をあわせる機会のない阿波市内四町の各小中学校が、バランスよくミックスされたチーム分けになっていました。

猛暑の中、競技が開始されました。各コート、どのチームも、初心者から経験者まで素晴らしいチームワークで、スポーツならではの清々しい親睦を図ることができました。合間には、みなさん仲良く休憩も兼ねての作戦会議が行われていました。気がつけば、どの試合も和気あいあいと真剣勝負(?)になっていました。ファインプレーあり、笑いあり、涙ありといったところでしょうか。

子どもたちが同じ学校へ通っていても、学年が違えば、保護者同士お互いに顔は知っているのですが、なかなか話す機会がありません。今回、ソフトバレーを通して親しくお話しできるようになったり、先生方ともお話しできたりと、プラスになることが多くありました。

子どもたちにとって、小中学校は宝の時代です。このソフトバレー交流会を通じて、子どもたちのため、学校のため、地域のため、ちょっぴりでもがんばったことは、きっと参加されたみなさんにとっても宝になると思います。

保護者のみなさんには、それぞれにいろいろなお事情があることでしょう。ですから、まずPTA活動を知っていただき、できるときに、できることを、ちょこっとだけでもという気持ちで、気軽にPTA活動にご参加いただきたいと心から願っています。

このソフトバレー交流会を主催していただいた、阿波市PTA連合会役員の皆様と、ご参加いただいた阿波市PTA会員の皆様、先生方に心より感謝申し上げます。



準備体操中



ソフトバレー大会試合中

- ★ルールは子どもと話し合って同意のうえで決めること
- ★ルールが守れなかったときのことも必ず決めておくこと

第2回目は12月14日(土)に県教育会館5階小ホールにて、家庭教育カウンセラーの内田玲子さんから「いじめの根っこ」と題し講演会を行います。今、世の中で一番問題とされている「いじめの根っこ」について、三十数年訴え続けている講師の方です。

「いじめは犯罪である」「すべての教育の原点は家庭の中」「親のいじめ育てが「根」となっている」この続きを聞きたい方は、当日10時までに会場にお越しください。県P連会員ならどなたでも参加できます。



スマホの安全な使用について研修会

県P連総会

去る六月六日（木）県教育会館において、県P連役員・郡市代議員・表彰者の方々の出席のもと、平成二十五年度定期総会が盛大に開催されました。

谷明彦会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた八団体と二十二名の方の表彰と二十二名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された五校に感謝状が贈られた。



役員総会

平成 25 年度 役員

会長	谷 明彦	(小松島)
副会長	藤井 利崇	(鳴門)
〃	森本 禎伸	(名西)
〃	横畠 行弘	(勝浦)
〃	大谷 徹	(那賀)
〃	松下 誠	(吉野川)
〃	木下 淳夫	(つるぎ)
〃	宮本 充	(役員会推薦)
〃	森川 融	(役員会推薦)
〃	藤田 進	(県小学校長会副会長)
〃	岡崎 能治	(県中学校長会副会長)
監事	佐藤 修司	(板野)
〃	白濱 誉記	(阿南)
〃	岡田 和也	(阿波)
顧問	祖上 俊郎	(名西)
〃	川原 富子	(徳島・名東中)
広報委員長	宮本 充	(鳴門)
研修委員長	森川 融	(小松島)
総務委員長	谷 明彦	(小松島)

ご臨席の来賓七名の方を代表して県義会副議長 川端 正義様、県中学校長副会長岡崎 能治様からご祝辞をいただいた後、吉田一彦氏の受賞者代表謝辞と進んだ。

議事に入り、平成二十四

日本PTA全国大会みえ大会に参加して

県P連 白濱 誉記



みえに集えばきつと見える：三重からの『わ』をスローガンに、八月二十三・二十四の二日間にわたり第六十一回日本PTA全国研究大会が三重県にて開かれました。

私は四日市で行われた特別第二分科会、京都造形芸術大学教授の山崎亮さんの講演に参加させて頂きました。日頃からの地域の繋がりが行動の基本となる事。

そして、その繋がりがこそが地域の復興・立て直しに如何に大切なのかをユーモアを交え事例を元に解りやすく説明して頂きました。

続くパネルディスカッションにおいては、東日本大震災の復興に於ける環境が子どもたちにとって、目に見えないプレッシャーとしてのし掛かっている現実を知らされました。二日目の全体会では、子ども木遣り、おかげ横丁神恩太鼓に迎えられた後、香川県出身のヴァイオリニスト川井郁子さんの演奏を交えた公演に参加。川井さんご自身の経験より、その子どもの感性を見つけ、見守り、それを褒め、的確な助

言をする事で、更に感性を伸ばす事が大切だと語られていました。

講演の最後には、組曲「惑星」より木星（ジュピター）の独奏。声は無くとも、川井さんの子どもへの思いをこめた優しさ溢れるストラディバリウスの奏でる旋律に、鳥肌の立つような感動を覚えました。

今回参加させて頂いた研究会を参考に、今後のPTA活動に如何に取り入れ実行出来るかを考えさせられる三重での二日間でした。



日本PTA全国大会みえ大会

栄えある全国表彰

十一月十九日、東京のホテルニューオオタニに於いて日本PTA全国協議会表彰式が行われる予定です。本県関係の団体・個人の受賞者は次の通りです。心からお喜び申しあげます。

日本PTA全国協議会会長 表彰・団体

鳴門市林崎小学校PTA

つるぎ町立半田中学校PTA

日本PTA全国協議会会長 表彰・個人

県P連元副会長

望月 一徳（中野島小P）

県P連元副会長

川島 正浩（山城中P）

県P連元監事

高橋 成文（神山東中P）

前川 好弘（勝浦中P）

日本PTA六十五周年 特別表彰

片保 憲資（名西）

永易友希子（板野）

数延 仁（阿南）

藤井伸一郎（板野）

北村 禎章（海部）

井原 丈士（板野）

笹尾 高七（勝浦）

幸平 勝久（美馬）

近藤 清一（三好）

吉田 一彦（鳴門）

宮本 充（鳴門）

永浜 浩幸（板野）

行野由美子（小松島）

相原 雄二（吉野川）

垂水 光治（美馬）

編集後記

今年度の広報委員会では、広報紙について研修会を開催しました。講師に徳島新

聞社NIE推進担当部長の三谷徹さんを迎え、どのように広報紙を作成すれば読み手に思いが伝わるのかを教えていただきました。

次に、この県P連日より「こころ」に今年度から連載として、各郡市P連の活動報告を掲載することになりました。

各郡市P連ともバレーボールやソフトバレーボール、綱引きなどを行い、市全体の交流や親睦をはかり強い絆を作っています。各郡市P連が一丸となってPTA活動を行う事はこれからです。今回ご協力いただいた、各郡市P連の皆さまありがとうございました。



広報紙研修会

徳島県PTA連合会 事務局

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目8-68 徳島県教育会館内 事務局長 中西 由佳 TEL(088)633-1105 FAX(088)633-1153 http://tokukenpta.com/